

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 10 日

期間:令和 4 年 1 月 15 日～令和 4 年 3 月 1 日

事業所名

保護者等数(児童数) 2

回収数

割合 100

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			2		トイレの段差が気になる	声掛け誘導
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	1			静養室が狭い。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2				理解出来ている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				分からない所は説明を求めている	継続していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1			1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			2			
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか				2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2				送迎の際にお話を聞いてもらっている	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				2		

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2				電話で対応してもらっている	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1				送迎の際に報告を入れてる
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2				ホームページには載っている。	更新回数を増やしていきたい
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか				2	任せているのでよくわからない	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。		1		1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2				連絡帳にて様子が分かる。	継続していきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2				子どもが楽しみにしている。	継続していきたい。
	23	事業所の支援に満足しているか	2				その都度話をしてもらっているので満足している。	継続していきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4 年 3 月 9 日

公表: 令和 4 年 3 月 10 日

事業所名 ネバーランド

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3		食事の際は最後の子が終わるまで隅っこのスペースで大人しく遊ぶ
	2	職員の配置数は適切である	7	2	少し多めの配置	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	声掛け	トイレの段差
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	4		ホームページを見る職員が少ない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9		第三者機関は参入していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	4		本年度より出来る限り参加する予定。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	4		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	4		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	3		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	5		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	3		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	4		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	4	担当者を参加させている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	3	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	9	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	6	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	7	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7	今後は参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	4	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	7	管理者かフロアリーダーが担当
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	5	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6	コロナ化により連携が取れていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	3	みんなで検討会を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	毎月発行している。
	35	個人情報に十分注意している	5	4	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	4	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	3	7	現在行われていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	月行事に取り入れている	月に一回程度は定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	4		地域包括の研修に参加予定
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	4		現在取り組み中
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3		アセスメント際に親御様より聞き取り炊事場に貼ってある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	4		

記入年月日:令和 4 年 3 月 10 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	遊ぶスペースと食事のスペースが一緒なので使い勝手が悪い時がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	土日祝日はかなり重心の子が多い為に配置が大見が必要
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	3	トイレの段差が気になる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2	フロア自体は広いが時間帯によっては走り回るので注意が必要
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0	申し送りノートの活用と朝の朝礼にて伝達している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2	親の意見は送迎の際に子供の過ごし方をしているか奉告している時に朝の会で報告し
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3	は一むページを見る事が少ない人がいる。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	9	第三者機関は参入していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	5	朝の会では定期的実施しているがパートさんはあまり参加出来ていない。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	4	個々に児童の担当を付けて細かい所まで観察できるようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	4	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	3	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	4	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	朝礼とノートを閲覧する形で伝達できている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3	朝の朝礼で個別に振り返りを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	3	連絡帳にて毎日記帳している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	3	担当者が参加出来るようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	6	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	9	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	9	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	4	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	5	社員が送迎にいらしているので先生と接することが限定されています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	7	なかなか出来ていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	7	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	5	送迎の際に伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	6	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	7	管理者とフロアーリーダーのみとなっている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2	7	管理者とフロアーリーダーのみとなっている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	6	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	6	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	毎月たよりを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	2	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	3	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	3	分かりやすいように壁に貼り付けている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	月に4回程度定期的実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	2	連絡ノートにて周知徹底している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3	アセスメントの際に親御様に確認張り紙等で周知徹底している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	出来る限り文章を少なくして書きやすい書式にしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	3	区内の連絡報告会に今後参加していく予定。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	2	

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4 年 3 月 10 日 期間:令和 4 年 1 月 15 日～令和 4 年 3 月 1 日

事業所名 _____ 保護者等数(児童数) _____ 回収数 21 割合 67

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	4		2	スペースは広いと思う。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	5		4	若い人がいない。	人材の確保
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11		3	7	トイレの段差が怖い。	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか						
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15			6	色々な取り組みをやっている	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	10	9	交流は難しい所がある	交流先を見つけていく。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			5	説明が細かすぎてよくわからない。	話を要約する。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	16	3		2	ライン等で相談は出来ている。	継続して行っていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3		10		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	5		5	夏祭りを再開して欲しい。	検討会
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			8	よくやって貰っている。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			6	送迎の際に報告を受けている	継続して行っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	5		7	あまり興味がない。	周知の必要あり。
14	個人情報に十分注意しているか	11			10	事業所に一任しているのでよくわからない	説明の必要あり。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15			6	書面にて通知してもらっているが具体的にはよくわからない	具体的に説明が必要
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			4	連絡帳で伝えてもらっている	継続して行っていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	5	3	5	学に伴い反抗期にある。	本人の意欲を早里できるように支援する
	18	事業所の支援に満足しているか	16			5	生活や災害などをやっているのを助かる。	継続して行っていく。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

